

氏 名(本 籍)	カミキハラシズエ (メキシコ)				
学 位 の 種 類	博 士 (理 学)				
学 位 記 番 号	博 甲 第 1091 号				
学位授与年月日	平成 5 年 3 月 25 日				
学位授与の要件	学位規則第 5 条第 1 項該当				
審 査 研 究 科	地 球 科 学 研 究 科				
学 位 論 文 題 目	日本における農家の契約栽培に関する地理学的研究 －茨城県麻生町の事例を中心として－				
主 査	筑波大学教授	理学博士	高 橋	伸 夫	
副 査	筑波大学教授	理学博士	奥 野	隆 史	
副 査	筑波大学教授	理学博士	佐 々 木	博	
副 査	筑波大学助教授	理学博士	田 林	明	
副 査	筑波大学教授	理学博士	斎 藤	功	

論 文 の 要 旨

本研究は、地域の農業と農家の農業経営の視点から契約栽培を総観的に分析し、日本における契約栽培の地理学的な特質を解明することを課題とする。この研究課題により、本研究は、契約栽培の地域農業における役割を考察するとともに、日本における契約栽培を地域的視点から改めて位置づけることを意図する。契約栽培が地域の農業と農業経営に与える影響を把握するため、茨城県麻生町を研究対象地域に選定した。麻生町は茨城県内でも葉タバコと加工用トマトの契約栽培生産が集中している地域である。また、麻生町の農業は、契約栽培に対して長い伝統を有している。

本研究は、まず、日本における契約栽培全体を分析した後、地域的な農業の現状を麻生町の加工用トマト農家とタバコ農家を事例として地理学的に考察する。本研究では、農業地域を形成する要因として、契約栽培にかかわる農家の意思決定の要素に注目し、各要素に関する統計資料と麻生町における聞き取り調査を中心とする現地調査による資料を基にして、実証的に分析を進めた。その結果、次のようなことが解明された。

1) 契約栽培農家は、他の農家と比べて農業経営規模が相対的に大きく、日本の農業生産を支える重要な農家群の一つである。契約栽培は、農家と農産加工業者との関係を中心に、農業協同組合や耕作組合、経済農業協同組合連合会等がかかわって成立している。

2) 麻生町における主要な契約栽培は、葉タバコ栽培と加工用トマト栽培である。葉タバコは平均的な栽培面積が他に比較して大規模であり、より専門的な農家によって栽培され、より専門的な栽培条件と固有な土地利用が必要である。加工用トマトは、栽培面積に限度があり、多様な形態で

補完的作物と組み合わせられている。

3) 契約栽培は、農家が高い土地生産性を維持し、高収入を得るのに適した農業形態である。農産加工業者は、このような契約栽培により特定の農産物の供給を確保している。

日本における契約栽培は、他の国ぐにと共通点は多いが、日本特有の性格も有する。日本の契約栽培の一つの特徴は、契約栽培の主導権が農産加工業者によるものではなく、農家とその組織、地域社会にあり、それらによって農業地域が主体的に構成されていることである。日本では農業生産が安定して持続するために、契約栽培は大きな役割を果たしてきたが、今後も多様な形態の契約栽培が展開するものと考察される。

審 査 の 要 旨

本研究は、日本における契約栽培を地理学的に分析することを課題としたものである。従来の研究では、契約栽培に関する論文は、地理学分野においても隣接科学においても少数であった。その数少ない研究論文は、局地的な研究にとどまるものや、特定な作物に関するものに限定されていた。

本研究は、地域の農業と農家の農業経営の視点から契約栽培を総観的に分析したものであり、従来の研究にない分析視角を有する。より詳細な研究成果を得るために、茨城県麻生町を事例にとり、精緻な現地調査により、契約農家の特性、農家と農産加工業者との関係、諸農業関連組織の地域的役割が解明された。本研究の成果を国内外における従来の研究と比較することによって、日本の契約栽培の特性が明らかになった。すなわち、日本における契約栽培は、他の国ぐにと比べると共通点は存在するが、日本の契約栽培の主要な特徴は、契約栽培の主導権が農産加工業者によるものではなく、農家とその組織、地域社会によるものと結論づけて、高い水準の知見が得られた。

よって、著者は博士（理学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。